特定非営利活動法人草加市力ヌー協会

草加パドラーズ

[会報第 315 号] 令和 3 年 1 月 20 日発行

□草加パドラーズ事務局 住所 草加市松江 2-4-16 □電話 048-931-3844

緊急事態宣言発出中

水曜/自主活動 4名7袋



使レ個まを田況し上戻袋はた苦活のたった100。のれ場のを連続で超氏をためましい。当時ではまれてはまれている。ではまれてはまれて船憩。できずいではまれて船憩をはまれて船りをできませる。できずいでがある。できずいでがある。できずいがある。できがある。できずいがある。できがある。できがある。できがある。できがある。できがある。できがある。できがある。というでは、これがある。





綾瀬|||を50艇が力走|

「カヌーの聖地」を

目指して初開催!

主催するNPO法

人草加市カヌー協会

「草加パドラーズ」は、

日頃から川辺のごみ

拾いなど綾瀬川の美

化活動を続けてきた。

今回のイベントも、草

加松原と綾瀬川を市

民に誇れる自然ゾー

ン、「カヌーの聖地」に することを理念として

当日は朝から風が

冷たかったが快晴に恵

加。川沿いのまつばら 綾瀬川公園の芝生に

鮮やかな色のカヌーが 並んだ。午前の時から の開会式には浅井昌 志草加市長も 出席、 「カヌーを通して町づ くり、人づくりを進め

510°

回松尾芭蕉杯力又一

昨年12月20日、草加松原の綾瀬川でNPO法人草加市カヌー協会主催 第1回松尾芭蕉杯カヌー大会」が開催。冬の澄み切った空気の中、大ノ

も子どもも力強くパドルをこいだ。

ていただきたい」と、 参加者や運営スタッフ を激励した。

よみがえった綾瀬川 でカヌーを続けたい の部から開始。左岸船 着き場策2ラグーン をスタートして上流に で折り返す往復1㎞

ラグーンのスロープ から水面へカヌーを押

向かい、松原大橋の先 のコースだ。

※問い合わせ



競技は小・中学生

後瀬川に色とりどりのカヌーが並ぶ(大人の部

≣04∞(0W−) w∞44 NPO法人草加市カヌ

し出し、器用にパドル

を操ってスタートライ

ンに並び、合図ととも に一斉にスタート。水 面を走るカヌーに、岸

から拍手や応援の声

が飛ぶ。ゴールインし

た子どもたちに、スタ ッフが「お疲れさん、 頑張ったね」と声を掛

続いて大人の部。鮮

わかなパドルさばきで 勢いよく水を切る。外

環道を越えた先で折

り返する岬のコース

を、レーシング艇やス ラローム般が競う。川 幅があまり広くないの でターンするときが危

競技後には上位者

が表彰され、全員に完

走賞と参加賞が贈ら

れた。閉会式では協会

理事長の中島清治さ

んが「きれいによみが

えった綾瀬川で、今後

も大会を続けていきた

い」と思いを述べた。

草加松原ゆかりの芭

熊の名を冠したこの大

会が、市の新たな名物

として定着することが

期待される。

ないそうだ。

けた。

(1トシ)